



学校教育目標

# 山王中だより

未来を見つめ自ら行動する生徒

令和4年5月16日

第3号

校長 土屋 孝夫

相談室 2957-4968

**令**和4年度も早いもので約1年半が経過しました。「新入生」は「1年生」に「新2年生・新3年生」は「2年生・3年生」と呼んだ方がしっくりくるようになりました。そのような中、目に見えて変わったことがあります。それは朝の風景です。自分から挨拶（先手挨拶）ができる生徒が随分と増えました。遅刻ギリギリの駆け込み登校がまったくなくなりました。例外なくすべての学級で、8:25から始まる朝読書が静かに集中してできています。挨拶を交わすことや時間を守ることは、よりよい人間関係づくりや集団生活の根本となる大切なものです。また読書を通して心を豊かにすることや集中力を高めることもできます。年度がかわってすぐに表れた良い変化は、みなさんのよりよい1年にしようという前向きな気持ちが形となって現れたものです。その気持ちを大切に、さらに上を目指していくことを願っています。

## 個人の努力は足し算、集団の協力は掛け算

先日の学校朝会の話より。

個人の努力は、「足し算」であると言われていています。例えば問題集を毎日2ページやることにすると、2日目には2+2で4ページ、3日目には2+2+2で6ページに、これを1年間やり遂げればおよそ700ページになります。最初に「700ページの問題集をやるぞ」と思っても「無理だよ」と思うかもしれませんが、小さな目標やノルマを掲げ、こつこつと継続することで最後には大きな成果を成し遂げるのです。だから小さな努力をコツコツと積み重ねる足し算の努力を大切にしてください。

一方で集団の協力は「掛け算」だと言われていています。例えば教室掃除を例にして考えてみましょう。一人で教室掃除をすべてやりなさいと言われてたら1時間ではきっと終わらないでしょう。途中でくじけて逃げ出してしまうかも知れませんが、たとえ6人でやったとしても、協力も分担もせず皆が同じ仕事をしていては時間内には終わらないでしょう。しかし、班の6人で協力・分担してやると、正味10分程度でやり遂げることができます。これは6人の力を単純に足し算した以上の成果が発揮されているからです。足し算以上に大きな成果になるのだから掛け算だろうということですが、でも掛け算だからこそ気を付けないといけないことがあります。それは6人の中に協力せず勝手なことをする人がいたらどうなるでしょうか。「 $2 \times 2 \times \dots \times 0 = 0$ 」になってしまうということですが。集団生活の中では、一人の存在とはこんなにも重要なのです。



本入部 新入生の部活動も本格化しました。高い目標を持ち、心と体を鍛えていきましょう。実質2年間しかありません。頑張ろう。



小中連絡会 山王小・御狩場小の元6年生の担任の先生が、1年生の授業の様子を見に来てくださいました。



緑の羽根の募金 生徒会本部役員が募金活動をしてくださいました。役員さん、募金してくれた人ありがとうございました。

